

2025年11月16日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

降誕前第6主日

朝第1礼拝 9:00~10:00
朝第2礼拝 10:30~11:45
夕礼拝 18:00~19:00

＜神の招き＞

前奏 ① ただ神にのみ委ねる人は ホミリュウス
② 愛する神に我は頼らん ベーム
③ 神をのみ愛する人は パッサ

招きの詞 詩編117:1~2

交読詩編 77:5~16

讃美歌 9

＜神の言葉＞

聖書 詩編16:1~11 (旧約 聖書協会共同訳 830 頁)
マルコによる福音書16:1~8 (新約 聖書協会共同訳 95 頁)

祈禱

転会式②

讃美歌 51

説教 「主の復活」

熊江秀一牧師

祈禱

讃美歌 335

＜神への応答＞

使徒信条

献金

主の祈り

幼児祝福式②

宣教報告②

頌栄 28

派遣と祝福

後奏 ① 喜び迎えん、慈しみ深きイエス パッサ
② 主は良き牧者 パッヘルベル
③ 神をのみ愛する人は ベーム

宣教報告①

今週の御言葉

(マルコによる福音書16:6~7)
若者は言った。「驚くことはない。十字架につけられたナザレのイエスを捜しているのだろうが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる。』」

次週の礼拝(11月23日)

① 9:00、② 10:30
説教「あなたがたは神の住まいである」
佐藤潤伝道師
エゼキエル書37:24~28、
エフェソの信徒への手紙2:17~22
交読詩編89:20~30
讃美歌14、61、416、25

サテライトチャーチ植竹礼拝・夕礼拝
10:30、③ 18:00
説教「主イエスと姦淫の女」熊江秀一牧師
詩編103:1~13、
ヨハネによる福音書8:1~11
交読詩編89:20~30
讃美歌11、52、481、28

ワーシップ(賛美礼拝) 14:00~15:00

説教「新しく生まれる」熊江秀一牧師、ヨハネによる福音書3:3~8
賛美:愛しています、新しい命、主イエス神の愛、花も、誰でもキリストのうちに、
主の祈り、5つのパンと2匹の魚、その日全世界が

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 幼子たちの成長の為に
4. 謝恩日（隠退された教師とご家族）の為に
5. 日本基督教団の宣教の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄弟姉の為に

***関東教区お祈りカレンダー** 大宮教会 東大宮教会

◇先週の説教より「墓に葬られた主」マルコによる福音書15章42～47節、申命記33章26～29節 熊江秀一牧師

主イエスが墓に葬られた箇所が与えられた。この出来事は、主の死が本当の死であったことを示す。しかしそれ以上に墓が主イエスの復活の命につながる新しい場となったことを示す。

主の葬りの出来事の中、神によってアリマタヤ出身のヨセフが用いられた。

ヨセフは「高名な議員」で「自らも神の国を待ち望んでいた」。彼は神の御心を求め、神の前に正しく生きる人であった。そんなヨセフは派閥や、民族主義的な視点から決議する他の議員たちとは違った。「同僚の決議や行動には同意しなかった」（ルカ）。ヨセフはイエスの十字架刑にも反対だった。しかしイエスに対する人々の憎しみの中、それを明らかにすることはできなかった。神の前に正しく生きつつも、何もすることもできない無力さを感じていたのである。この姿は私たちの姿である。

しかし神はヨセフをお用いになった。

彼は主の遺体を引き取るためにピラトのもとに「思い切って」（勇気を出して）行った。

そして、主のなきがらを十字架から降ろし、亜麻布で包み、墓に葬った。この墓はヨセフが自分のために用意しておいた墓であった。

なぜヨセフに勇気が与えられたのか。それは十字架の主に待ち望んでいた「神の国」の実現を見たからである。彼が待ち望んで来た神の国の実現が十字架の主にあると確信したのである。それは百人隊長が「まことに、この人は神の子だった」と告白した姿と共通する。

ヨセフはこの葬りゆえに大きな恵みをいただく。それは主が自分の墓から復活するという恵みである。ヨセフの晩年は神の国を待ち望む人生から、神の国の恵みに生きる人生へと変わった。そして死の時も、主が復活された墓で希望を持って迎えたのである。私たちもヨセフと共に、主の命の希望を歩もう。

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、③は夕礼拝。